

違憲

秘密保護法

自公

成立強行

新たなたたかい

撤廃へスタートを



秘密保護法廃案へ1万5000人が参加した東京・日比谷音楽堂の大集会（6日）（しんぶん赤旗7日付）

法案提出からわずか1ヵ月、国民多数の反対、圧倒的多数の慎重審議を求める声を踏みにじり、憲法に明記された国民主権、基本的人権、平和主義をことごとく蹂躪（じゅうりん）する秘密保護法が、自民・公明により強行成立させられました。許すことのできない暴挙です。

「この法律は、通ったから仕方がない

ではすみません。むざむざとこの違憲立法によって平和と民主主義が破壊されていくことを、手をこまねいている訳にはいきません」（日本共産党・志位和夫委員長）。この悪法は撤廃するしか解決の方法はありません。だれも暗黒政治を望みません。希代の悪法撤廃へ力を合わせましょう。

安倍政権の終わりが始まった

第一次安倍政権は“数の暴走”で国民の信頼を急速に失い、政権を投げ出しました（2007年）。「世論との衝突も辞さない姿を鮮明にしたことで一線を越えた」（「京都」7日付）

歴史に裁かれる
暴挙は国民と

今回の強行劇。「安倍政権の終わりが始まった」ものです。「必ずこの暴挙は、国民と歴史によって裁かれる。その日が必ずやってくる」（志位委員長）。たたかいは続きます。

近畿民報

発行／日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2013年12月号外 No.3

〒540-0004 大阪府中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpcnkink@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党

※日本共産党は以上の見解を発表しました。